市の考え方（回答及び対応）

令和7年1月29日（水）から令和7年2月17日（月）まで実施した「南砺市太陽光発電設備の設置の規制等に関する条例（案）」についてのパブリックコメントにおいて、期間中に5件のご意見をいただきました。

ご意見の内容と市の回答及び対応は次のとおりです。

パブリックコメントでいただいた意見以外の条例案を適切に、かつよりわかりやすい内容に修正するとともに、条例の文書体裁を下記のとおり整えました。

受付番号	ご意見の内容	市の回答及び対応
1	<p>【規制の策定】 条例の制定について、弊社の〇〇（地区）の倒壊が契機とのことだが、実務上今後適用となる機会は弊社以外非常に低いため需要がない。</p> <p>・今後、弊社以外で新たにFIT申請する事業者は、買取価格の低下等踏まえて可能性が極めて低い。特定の人物のためにつくられる法律や条例は、一般的に特別立法や特定法、私法と呼ばれ、その対象となる人々に対して不公平な扱い、不利益を課したりすることが問題視されている。特定の人物をターゲットとした法律や条例は、法の公平性や透明性を損なう可能性があるため、一般的には避けられるべきとされている。日本国憲法第14条では、すべての市民が法の下で平等であることが保障されており、特定の個人を対象とする条例は、この原則に反するため、憲法上の問題が生じることもある。</p> <p>・法律よりも厳しい条例は環境保護条例や動物愛護条例、喫煙条例等存在し、地域の特性や住民の需要に基づいて制定されるが、今回の弊社以外適用になる可能性が低い場合、需要は非常に低いため制定の意味があるのか再考すべきである。</p>	<p>【条例制定】 本条例は、太陽光発電設備の設置及び維持管理に関して、太陽光パネルの倒壊だけでなく設置場所の土砂流出、反射光などの災害防止や自然環境、景観を保全するとともに、事業者と地域が良好な関係を構築し、市民の生命、財産を保護することを目的としています。</p> <p>また、本市が掲げるエコビレッジ構想に基づき、自然と共生した新たなライフスタイルの創出を目指したまちづくりを進めていることから、いずれの事業者であっても、防災、景観保全並びに地域との共生により、適正な脱炭素の取り組みを進めるものとしてご理解をお願いします。</p>
2	<p>【住民同意について】 条例（案）4ページ (1) (2) の所有者や隣接する土地・建築物の所有者は理解できるが、(3) (4) については反対する。</p> <p>・〇〇（地区）の倒壊に対する説明会に参加していただいた南砺市役所のお二人もご存じの通り、強度計算等、倒れない構造を示しても、説明会参加者の追尾架台に対する不安は根拠なく払拭されず、これ以上説明のしようがなく、弊社が追尾架台の再建を諦める他ない状況。このまま同意を得られるとは考えられず、業務妨害ともいえる。</p> <p>・不条理な不同意（個人的な感情論等）に対する策が講じられていない（例：不同意の内容を精査する第三者機関の設置、同意リストを作成し同意できない理由を明確化、特定の条件を満たす場合は、住民同意を不要とするなど例外規定を検討）。</p> <p>・非常に厳しい条例が制定されている〇〇県〇〇市に電話で住民同意等について確認したところ、200m以内の住民等については説明の義務が生じ、同意については土地所有、隣地者のみが必要とされ、南砺市の条例（案）の厳しさが顕著となっている。</p>	<p>【住民同意について】 住民同意については、この条例で求める最も重要な要件としています。現在の法令では、地元が望まない太陽光発電設備の設置に関し、問題の解決を図る機会がありません。このことから、事業者に対しては開発計画の時点から地元との関係性を高め、不測の事態が生じても円滑に意思疎通が図られる体制づくりを求めています。</p> <p>ただし、ご指摘のとおり、不条理な不同意等も想定されることから、地域住民等の責務と紛争調整委員会に係る規定を設けることで、公平な問題解決となるよう努めるものです。</p>
3	<p>【事前協議】 条例（案）3ページ 弊社代表よりも太陽光発電に関する知識・技術面において優れた人物がいないということであるが、概要書を事前に提出することは重複の確認となる。</p> <p>・太陽光発電を始める際に国のガイドラインに則って始めている以上、南砺市の条例（案）禁止事項に該当することはないため、重複の提出となり、業務上非効率である。</p> <p>・事前に禁止項目に該当しないかの確認を市役所に行うため、事前協議が必要になるのであれば、重複する。市役所のほうで全て自主的に禁止項目のチェックを行ってくれるということか。</p>	<p>【事前協議】 事前協議については、あくまで太陽光発電事業の概要と設置地区を把握、確認するもので、法令等に基づき国が行う許認可手続きに相当するものではありません。</p> <p>禁止区域についても、個々で問い合わせられていた窓口を一括にすることで、簡素化を図ろうとするものですのでご理解をお願いします。</p>

受付番号	ご意見の内容	市の回答及び対応
4	<p>【着手の届出、工事完了の検査】条例(案) 7.8ページ 上記と同様の理由。また、検査については保安監督部に検査をしてもらうが、それ以上の有識者が検査をするのか。そうだとすると重複し、互いに時間・労力ともに手間となる。</p>	<p>【着手の届出、工事完了の検査】 着手の届出、工事完了の検査については、法令に基づく検査ではなく、地元で説明された内容（規模、規格、配置等）について齟齬がないか確認するために行うものです。 このため検査日時についても、国の検査に同行するなど、時間的な負担軽減に努めていきたいと考えていますので、ご理解をお願いします。</p>
5	<p>【まとめ】 条例が制定され、重複した手続きや住民同意を行うことでこれまで以上に時間を要し、IDの失効等事業計画の遅延や中止に繋がり、事業者の自由な経済活動を阻害することとなる。そのような経済的損失に対する補償はどうする予定か。そこまで考慮したガイドラインを作成すべきである。</p> <p>太陽光発電事業は、地域の雇用創出や税収増に貢献する。条例(案)の内容が変更されないことで、行政の負担が大きくなり、住民同意がハードルとなり地域の発展が遅れる原因ともなりうるため、経済効果や環境効果を地域住民に周知し理解を求めめる必要がある。</p>	<p>【まとめ】 条例の制定に伴い、同意の取得が求められるなど、事業者には今以上にご負担をいただくことになることは十分に認識していることから、本条例は令和7年8月1日以降に着手する設置事業から適用することとしていますので、ご理解をお願いします。</p> <p>太陽光発電は、今後も推進していくべき重要な再生可能エネルギーですが、南砺市環境未来づくり基本条例の前文にもあるように、市、市民及び事業者が協働して、環境、社会、経済などあらゆる視点から持続可能な地域、人と人、そして人と自然が共生する社会の実現を目指していくことが重要であると考えています。</p>